



向き合い、
 寄り添う

サンタランドにて真剣なまなざしで作業をする齋藤さん（左）と施設長の浅崎さん（右）

12月3日～9日は障がい者週間

門真市では障がい者手帳を持つ方が15人に1人の割合で暮らしています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、障がいへの理解を深め、互いの人格や個性を尊重し、支え合うことが大切です。

市では、障がい者週間にあわせて街頭キャンペーンや演奏会を実施します。

問合せ先 障がい福祉課 ☎06(6902)6154

街頭キャンペーン

障がいのある人が心を込めて手作りした製品を販売します。

とき 12月3日(火)
 午後1時30分から

ところ 京阪古川橋駅前

共催 門真市社会福祉協議会

僕も
 登場するよ～



ヘルマンハーブ演奏会

文化・芸術などの活動に励む障がいがある人の日々の成果をご覧ください。

とき 12月4日(水)
 午後0時10分から

ところ 市役所別館1階ロビー

出演 ヘルマンハーブ かすみ奏

費用 無料



障がいがある人の「働きたい」を支えるために

就労継続支援B型事業所（島頭4丁目）
 サンタ・ランド施設長

浅崎 久美さん



ここでは、障がいのある人が自立した生活を送るために、必要な力を身に付けられるよう、お手伝いをしています。作業内容はつまみ細工などの小物作りや、小学生が理科の授業で使う実験道具のパッキングなどさまざまです。障がいや個性に合わせ、その人の適性を見極めながら作業を分担します。障がいがあっても「これは負けない！」という部分を発見し、得意なことを伸ばしてあげるのが私たちの仕事です。障がいがある人の「もっと頑張ろう！」という姿勢を皆さんにもぜひ見てほしいです。



手作り製品は購入できます。種類も豊富です。ぜひご覧ください。

